

[果樹部門 令和2年度 指導参考資料]

事項名	西洋なしで9月に発生するカメムシ類の防除薬剤			
ねらい	西洋なしのカメムシ類の防除では、9月に発生がみられた場合は使用時期が「収穫14日前まで」のMR. ジョーカー水和剤を使用することとしていた。近年、主要品種「ゼネラル・レクラーク」では収穫始めが早い年があることから、収穫間近の品種を考慮し、9月のカメムシ類防除薬剤を、収穫前日まで使用できるスカウトフロアブル1,500倍としたので参考に供する。			
指導参考内容	西洋なしで9月にカメムシ類の発生がみられた場合、スカウトフロアブル1,500倍液を10a当たり4500散布する。			
	(参考) なしのカメムシ類に対する各薬剤の農薬使用基準			
	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
	スカウトフロアブル	1,500倍	収穫前日まで	5回以内
MR. ジョーカー水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	2回以内	
期待される効果	スカウトフロアブルは収穫前日まで使用できるため、収穫期に散布した場合でも、適期収穫が可能である。			
利用上の注意事項	<p>1 本資料は令和元年11月19日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用すること。 「農薬情報」 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/) 「農薬登録情報提供システム」 (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用すること。</p> <p>3 青森県西洋なし病害虫防除暦で、スカウトフロアブルは「7月中旬」、「7月下旬」、「8月上旬」及び「8月中旬」の基準薬剤であるので、使用に当たっては成分総使用回数を遵守する。</p>			
問い合わせ先(電話番号)	りんご研究所 県南果樹部 (0178-62-4111)	対象地域及び経営体	県下全域の西洋なし作付経営体	
発表文献等	平成25～令和元年度 りんご研究所試験研究成績概要集(特産果樹)			

【根拠となった主要な試験結果】

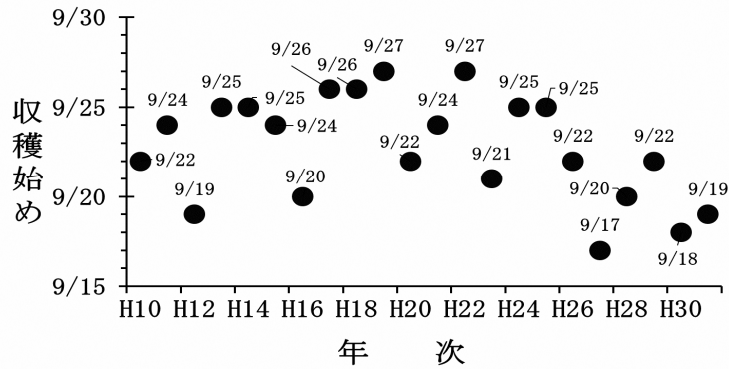


図1 県南果樹部における「ゼネラル・レクラーク」収穫始めの推移
(平成10～令和元年 青森りんご研県南果樹)

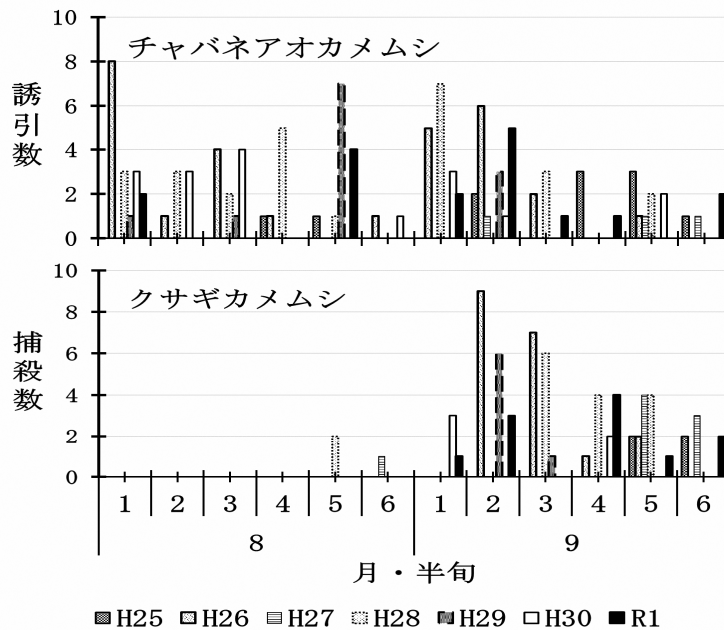


図2 県南果樹部における8月・9月のカメムシ類誘引及び捕殺状況
(平成25～令和元年 青森りんご研県南果樹)
(注) 県南果樹部(五戸町扇田)に設置したチャバネアオカメムシ用フェロモントラップによる調査

表1 スカウトフロアブルの9月散布における薬害発生状況
(令和元年 青森りんご研県南果樹)

品 種	果実	葉
バートレット	—	なし
フレミッシュ・ビューティ	—	なし
ゼネラル・レクラーク	なし	なし
ラ・フランス	なし	なし

- (注) 1 県南果樹部圃場で9月6日に展着剤マイリノー10,000倍を加用したスカウトフロアブル1,500倍液をスピードスプレーヤで散布した。
2 「バートレット」、「フレミッシュ・ビューティ」及び「ゼネラル・レクラーク」は9月18日に、「ラ・フランス」は9月27日に薬害の有無を調査した。
3 —: 収穫済みのため調査なし